

製品名: ベクリン-1(5C2)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM07530

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス、ウシ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	BECN1
別名	BECN1
遺伝子 ID	8678.0
SwissProt ID	Q14457
免疫原	ベクリン-1の合成ペプチド（アミノ酸範囲 110~190）

背景

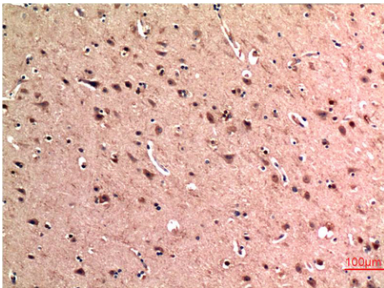
ベクリン 1 (BECN1) ホモサピエンス この遺伝子は、飢餓によって引き起こされる分解過程であるオートファジーを制御するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、小胞輸送過程を媒介するホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ

(PI3K) 複合体の構成要素です。このタンパク質は、腫瘍形成、神経変性、アポトーシスなど、複数の細胞プロセスにおいて役割を果たすと考えられています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2015年9月]、機能: オートファジーにおいて中心的な役割を果たす (類似性による)。抗ウイルス宿主防御において役割を果たす可能性がある。神経毒性を持つシンドビスウイルス株による感染を防御する。類似性: ベクリンファミリーに属する。細胞内局在: 小脳プルキンエ細胞の樹状突起および細胞体に発現する。サブユニット: GOPC および GRID2 と相互作用する。AMBRA1 と相互作用する。おそらく AMBRA1 および PIK3C3 と複合体を形成する (類似性に基づく)。BCL2 および BCL2L1 と相互作用する。組織特異性: 普遍的。

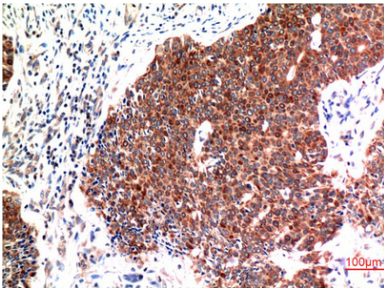
研究分野

オートファジーの調節;

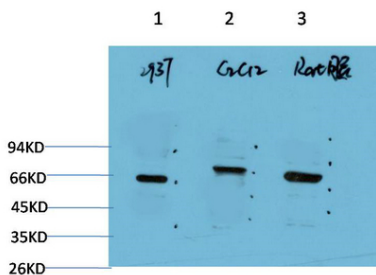
画像データ



1:200 に希釈した Beclin-1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。



1:200 に希釈した Beclin-1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。



1) 293T 細胞溶解物、2) C2C12 細胞溶解物、3) ラット脳組織溶解物の 1:2000 希釈 Beclin-1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。